

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年8月30日(水)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO13

校長 月原 浩

令和5年度 CS春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

前期後半の重点は「あいさつ」です！

夏休み前の校長だより No12でお伝えしましたように「あいさつ」があまり返ってこなくなっているというのが前期前半の実感でした。そこで8月25日の全校朝会では、「挨拶一杯の天小にしていこう」ということを話しました。

あいさつは、漢字で書くと「挨拶」と書きます。「挨(あい)」のほうの訓読みは「挨(お)す」「挨(ひらく)」で、「拶(さつ)」のほうの訓読みは「拶(せま)る」です。子どもたちには「心を開いて、相手にせまる」という意味があると伝えました。

更に、なぜあいさつをする必要があるのか、良さを話しました。私は、大きく二つあると考えています。一つは、様々な人と心をつなぐため。もう一つは、自分を高めるためです。

一つ目の心をつなぐため。あいさつをするだけで、会話が始まり、仲良くなるきっかけができます。嬉しい気もちになり、笑顔が増え、人間関係もよくなります。自分の存在を認めてくれているという思いをもつことができます。日頃の感謝の気持ちを伝えることができます。

二つ目の自分を高めるため。社会生活をする上で、自分の思いや考えを相手に伝えるという力は大変大切な力です。そのような力をつけるために学校では日々の学習で「発表」する場面があります。発表は、初めての場面や改まった場面、大勢の中で・・・と緊張するものです。その壁を乗り越えるために「あいさつ」は良い訓練の場ととらえることもできます。

今週に入り、28日月曜日、29日火曜日と明らかに「あいさつ」が良くなりました。ほとんどの子どもがあいさつを頑張っていました。きちんと目を見てやる子、笑顔を添えてやる子、自分からやる子、校長先生と相手の名前を入れてやる子、ゴミ拾いありがとうございますと一言付け加えてやる子、わざわざ立ち止まり頭を深々と下げてやる子・・・朝から、とてつもない力をもらい、素敵な1日のスタートになりました。

このような「あいさつ」が学校の中でも、先生たちにだけでなく、友達同士、学年をこえて、挨拶一杯の天小になってくれることを願っています。更に地域に広がっていくことも願っています。さあ、まず、ご家庭で「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」「おやすみ」・・・などのあいさつが溢れるようによろしく願います！！

